



のう
能

ふなべんけい
「船弁慶」

* 場所 * ばしょ ひょうごけん 兵庫県 * 大物の浦 だいもつ うら * 季節 * きせつ あき ふゆ 秋または冬

～おはなし～

みなとのよしつね あにみなとのよりも あらそ
源義経は、兄の源頼朝との争いをさけるため、弁慶や静御前などの仲間たち
とも さいごく む
と共に西国へ向かっていました。

よしつね だいもつ うら しづかごぜん みやこ かえ ふね の
義経は大物の浦で静御前を都へ帰らせ船に乘ります。

ふね で あらし たいらのとももり へいけ ぶし おんりょう
船が出ると嵐になり、平知盛をはじめとする平家の武士の怨霊がおそいか
かってきましたが義経たちは見事に撃退し旅を続けるのでした。